

第15回 運営推進会議議事録

令和5年9月16日

デイサービスセンターみのり

- 1、運営推進会議開催について
 1. 管理者の挨拶
 2. 自己紹介

- 2、運営推進会議構成員

- 3、利用登録状況

- 4、自主点検・更新認定報告

- 5、行事・レク

- 6、研修・会議の実施報告等
(満足度アンケート結果)
(事故・ヒヤリハット苦情報告)

- 7、評価及びご意見について

- 8、次回のご案内

- 9、閉会の挨拶

1) 第15 デイサービスセンターみのり運営推進会議の開催について

日 時：令和5年9月16日（土） 11:00～12:00

場 所：デイサービスセンターみのり

1. 管理者からの挨拶
2. 自己紹介

2) 【運営推進会議構成員出席者】

1. 大宅学区民生児童委員協議会：1名
2. 老人福祉員：1名
3. 大宅地域包括支援センター：欠席（照会）
4. 利用者代表：1名

【デイサービスセンターみのり関係出席者】

1. 管理者：1名

3) 利用登録者概要

令和5年9月1日現在

登録者数	22名（現在90%の登録があり残り5枠の空きがあります。）
介護度別登録者数	要介護1（5名） 要介護2（5名） 要介護3（5名） 要介護4（4名） 要介護5（1名）
	要支援Ⅰ（1名） 要支援Ⅱ（1名）
ご利用登録状況	月（9名） 火（9名） 水（9名） 木（8名） 金（10名）

令和5年3月1日（前回6ヶ月前の状況）

登録者数	18名（現在80%の登録があり残り10枠の空きがあります。）
介護度別登録者数	要介護1（5名） 要介護2（2名） 要介護3（5名） 要介護4（4名） 要介護5（0名）
	要支援Ⅰ（1名） 要支援Ⅱ（1名）
ご利用登録状況	月（9名） 火（9名） 水（8名） 木（5名） 金（9名）

4) 自主点検と指定更新について

1. 自主点検実施報告

- ・介護保険サービス事業所においては、厚生省令等に定められた人員、設備、運営に関する基準及びサービスに要する費用の算定に関する基準を遵守することが必要となっています。

- ・事業所自信が、自らのサービスの提供体制及び運営状況、サービス費用の算定方法についての点検・評価を行い積極的に活用し、より質の高いサービス提供を目指すために実施されます。
- ・本年度も5月8日付けで自主点検を実施致しました。
- ◆自主点検実施結果としては、全ての評価項目において、基準を満たしていると判断出来ました。

2. 指定更新報告

- ・平成18年4月の介護保険法の改正により、介護保険サービスの質を担保するために、事業者（開設者）が法令や指定基準等を遵守して、適切なサービス提供を行っているか定期的にチェックする仕組みとして、指定の更新制が導入され、指定の効力に有効期間（6年間）が設けられています。
- ・これにより、現に指定を受けている事業者（開設者）は、6年ごとに指定の更新を受けなければ、有効期限満了により指定の効力が失われます。
- ◆当事業所においては、地域密着型通所介護の指定有効期限が本年度の8月で6年間が経過するため更新申請を実施致しました。
- ◆介護予防・日常生活支援総合事業の指定有効期限が令和6年3月までであったが、今回の指定更新で同時に実施することとした。
- ◆指定更新結果としては、地域密着型通所介護及び介護予防・日常生活支援総合事業共に、書類での運営指導にとどまり実地指導や監査等の立ち入り検査はなく、無事更新することが出来ております。
- ◆このことから、地域密着型通所介護及び介護予防・日常生活支援総合事業共に次回の更新は、令和11年8月となります。

5) 誕生日会・行事・レクリエーション

【誕生日会実施状況】

(3月2名) (4月3名) (5月1名) (6月3名) (7月1名) (8月4名)

- ・食材費等の高騰が影響し中止も検討致しましたが、利用者様が楽しみにされているため、誕生日ケーキは継続して提供させて頂きました。
また、記念撮影の色紙もお渡し致しました。
- ・利用者様と職員と一緒に歌を歌ってお祝い致しました。
- ・お誕生日会では、他のご利用者さんからのお祝いのお言葉を頂き、職員からもメッセージやお言葉をお伝えし、喜んで頂けた様子でした。
- ・誕生日会は、特別な日として、とても感動され喜んでおられました。

【行事・外出レクリエーション状況】

3月 ◆ お花見（機能訓練を目的として実施）

実施内容：平安神宮方面、記念撮影等

8月 ◆ 夏祭り

実施内容：ヨーヨー釣り、金魚すくい、射的、ビンゴ大会、かき氷、たこ焼き

※ 感染予防に配慮して、実施致しました。

※ 久しぶりの開催で皆さんとても楽しそうにご参加されておられました。

6) 研修・会議の実施報告

【研修報告】

< 3月：感染症対策委員会研修 >

① 感染対策の原則と基礎知識

◆ 高齢者施設における感染制御の基本

1 | 病原体を持ち込まない 2 | 病原体を持ち出さない 3 | 病原体を拡げない

- ・ 施設内に入る時やケア前後の手指消毒、流水による手洗い
- ・ 咳やくしゃみをしている場合等のマスク着用
- ・ 血液、体液、分泌物、嘔吐物、排泄物等を扱うときは手袋を着用し、飛び散る可能性のある場合に備えて、マスクやエプロン・ガウンを着用

② インフルエンザ対策

③ ノロウイルス対策（食中毒）

④ 食中毒事例検討

※ 現在までに、当事業所内での食中毒の発生事例がないため、掲載事例参照

< 4月：BCP 自然災害研修及び机上訓練 >

① BCP（自然災害）について以下の内容について研修を行った。

1. 基本方針の理解
2. 対応責任者の各役割の説明
 - ・ 総括責任者（管理者）
 - ・ 初動対応担当（管理者）不在時の代行：生活相談員
 - ・ 業務継続担当（管理者）不在時の代行：生活相談員
3. 被害想定をハザードマップ等で確認（想定地震は震度6弱）

【対応手順】マニュアルに沿って確認を行った。

- 1) 対策本部設置について
- 2) 避難場所の確認
- 3) 救助・負傷者対応方法
- 4) 安否確認方法

② BCP 自然災害机上訓練について

・ 机上訓練問題の説明

災害想定：震度6強の地震が発生し施設内は照明が消え、天井板が落ち、倒れた棚・落下したパソコン・割れたガラス片などが散乱しています。

1. BCP 机上訓練問題の実施

- ・今回の机上訓練では、災害発生時の対応を各自で考えてもらった。
- ・管理者や相談員が不在の場合を想定し、介護職員のみで自主的に何が出来るかを考える訓練となっています。
- ・課題に沿って各自が対応を考えて書き出し、問題終了後に全員で解答例と見合わせを行う。

【評価と課題】

- ◆ 普段の行動が、管理者からの指示がほとんどである状況の為、自主的な行動や決定する作業に戸惑いが多く見受けられていた。
- ◆ 担当役割を決める際には総括責任者を他の職員にゆだねる発言が多く見受けられ、自主的にリーダーシップを取れない結果となった。
- 緊急時に管理者や相談員が不在の場合に、自主的な判断や積極性に問題があるため、事前に役割を決定しておく必要がある。
- 少人数である為、一人で担当する役割が多くなることから基本的には、全ての職員が全ての担当が出来る準備が必要と考える。

< 5月：BCP 感染症発生時研修及び机上訓練 >

【訓練の目的】

① 関係者間で感染者が発生した場合のシミュレーション

1. 感染拡大防止の対応と各担当の任務を確認する。
2. 机上訓練から実際の感染拡大を想定することで、問題点や課題が確認できる。
3. 感染発生時の対応力を身に着ける。

【訓練内容】

- ・机上訓練問題の説明

② 机上訓練：想定問題の実施とディスカッション

BCP 感染症発生時の机上訓練について

1. BCP 机上訓練問題の実施
2. 机上訓練問題についての検討とディスカッション
3. 課題や問題点の解決

【評価と課題】

- ◆ 机上訓練問題の内容が実際の施設環境や状況と相違があり、回答する際にイメージしにくいと、回答しづらいとの意見が多かった。
- 今回は、厚生労働省のシナリオを元に作成をしたため問題内容が分かりにくいとの意見が多いことから次回からは、オリジナル問題を作成することとした。
- 問題内容が理解しにくいことで、回答に時間が足りないとの意見があり次回からは、30分程度で解答できる内容にする予定とした。

< 5月：認知症研修 >

【認知症の特徴と原因、症状】

1. 認知症の4つの種類の説明と特徴について

- ①アルツハイマー型認知症
- ②血管性認知症
- ③レビー小体型認知症
- ④前頭側頭型認知症

【認知症の理解】

- 1. 認知症ケアの歴史
- 2. 認知症の人の心理
- 3. 認知症の原因疾患と行動・心理症状（B P S D）
- 4. 行動・心理症状（B P S D）の理解と対応

【認知症の中核症状】

- ・記憶障害
- ・見当識障害
- ・失語
- ・失行
- ・失認
- ・実行機能障害
- ・判断の障害

< 6月：リスクマネジメント研修 >

1. ヒヤリハット及び事故防止について】

- ① 事故防止と再発予防についての検討とディスカッション実施
- ② 再発防止について検討

◆ ヒヤリハット：6件 事故報告：0件 苦情報告：0件

1) バイタルや休憩時間等の記入忘れ

【再発防止対策】

- ・他の職員が気づいて、記入を行った。
- ・担当した職員がキャリア不足であったことも発生原因の一つと考えられることから、キャリアが長い職員の二重チェックを今後も継続する必要がある。

2) 体験利用の利用者様が持参されているコルセットを相談員からの指示で、機能訓練時に装着するように言われていたが、忘れてしまった。

【再発防止対策】

- ・職員間の情報共有や覚え書きで忘れないようにする。
- ・コルセットを早くから目のつく場所に用意しておく。
- ・日常業務になれてしまっているため、変則な状況への対応が出来なかった可能性もあり、普段から落ち着いて一つ一つ確認を行う習慣を身に着ける。

3) 服薬後に服薬袋をポケットに入れてしまい他の業務をしたために、連絡帳袋に戻すのを忘れてしまった。

【再発防止対策】

- ・服薬袋をポケットに入れずに、直ぐに連絡帳袋に入れるように習慣づける。
- ・多忙な業務で後回しになる事が重なって起きたと考えられるため、出来るだけ他の職員との声掛けや連携を行い、業務が重なって行かないように処理をする。

4) お帰りの際に、シューズケースを返し忘れた。利用者様から帰宅後に電話で問い合わせが入り発覚した。

【再発防止対策】

- ・今回の利用者様は毎回3つのカバンを持ってこられるため、乗車時に全て揃っているか再確認する。
- ・送迎に同行する職員が全ての荷物を積み込むとは限らない為、必ず利用者様の荷物が全て揃っているか確認してから出発する習慣をつける。

5) お帰り送迎の際に、荷物の積み込み忘れがないかの確認をしたが、杖を別の送迎車に積み込んでしまった。

【再発防止対策】

- ・忘れ物確認と共に荷物の積み間違えがないかの確認もする。
- ・職員の思い込みによる積み間違えの可能性もあり、必ず目で乗車されている方と荷物が合っているかを確認する習慣を身につける。

6) 一人送迎時に、一人利用者様を乗せて他の仲良しの利用者様を迎えに行った際に、先に乗車されていた利用者様がうれしさのあまり車から飛び出して来られた。

【再発防止対策】

- ・今回の利用者様は、普段から制止が効かない方であったことから、事前に車から降りないようお願いをする必要があった。
- ・今回のような制止が効かない方などを一人送迎しないようにするか、送迎順を変更して最後にお迎えに行くようにする。

③ 事故対応についての確認と問題点検討

1. 事故発生時の流れと対応について

Q: 事故発生時の対応としては、マニュアルを基本に管理者や相談員に情報を伝え、指示を仰ぐことになっているが、管理者や相談員が不在の場合は、どのように対応するかを検討した。

A: 事故発生時に管理者や相談員などの責任者が不在の場合は、現場にいる職員で担当を決め、情報を集約し管理者等に連絡が取れる場合は、連絡し指示を仰ぐが連絡が取れない場合は、担当者が関係機関やご家族への連絡を行い、緊急性が高い順に対応に当たる。

- ※ 緊急性が高いとは、怪我人や病人の対応及び救急車要請などが考えられる。
- ※ 救急車で病院への搬送の際には、職員は同乗せずに現場の対応を継続する。

Q：救急搬送の際に必要な情報を救急隊員へ伝えるためにはどうしたらよいか

A：利用者様の場合は、救急車が到着する前からサービス提供票や個人情報ファイル等を確認して、救急隊へ必要な情報を提供出来るようにしておく

- ※ 主治医・かかりつけの病院（カルテ）・既往歴・ご家族等の連絡先・服薬・受傷原因等を伝えることが出来るようにしておく。

※今回は、事故及び苦情報告はなし

※上記、報告内容の共有と検討を行いました。

2. 事故対応マニュアル検討

- ◆ 事故防止研修を年1回から年2回に変更
- ◆ ヒヤリハット・事故報告検討会議については継続して毎月実施

【会議報告】

<毎月の月例会議と定例会議の実施>

- ・月ごとのサービスやレクリエーション等について
- ・誕生日会や行事の予定
- ・ヒヤリハットや事故報告書
- ・ケアの好事例（モチベーションアップ）
- ・その他報告

<6月：マニュアル検討会議>

- ・健康管理マニュアル改定について
- ・救急蘇生法 2020 へ変更
- ・新型コロナウイルス感染症流行期の1次救命処置

<6月：第3回感染症対策委員会会議>

- ・新型コロナウイルス感染症の今後の対応
- ・感染症対策

<7月：サービス検討会議>

- ・忘れ物防止対策について
- ・送迎時の自宅内サービスについて（対応できる範囲いや必要性について確認）

<8月：業務改善検討会議>

- ・新型コロナウイルス感染症5類移行後の対応について

< 8月：令和5年度集団指導報告 >

- ・本年度集団指導内容についての周知報告を実施

< 8月：満足度検討会議 >

(満足度調査結果)

- ・年2回の満足度調査を実施しています。

実施人数：男性5名 女性15 計20名(入院等の欠席者等を除く)

[調査内容]

	満足	普通	不満足	満足度(%)
1. ご利用内容	20名			100%
2. 食事内容	20名			100%
3. 送迎	20名			100%
4. 入浴	18名(2名入浴なし)			100%
5. 機能訓練	20名			100%
6. レクリエーション	20名			100%
7. 喫茶	19名(1名喫茶なし)			100%
8. 職員対応	20名			100%

(アンケート結果について)

- ・今回で4回連続での全てにおいて満足度100%でした。
- ・最近、利用者様からの感謝のお言葉を頂く機会が増えています。今回のアンケート結果もこのような事が反映されたと考えられます。
- ・毎日の業務の中で、各職員の対応や業務が認められている結果となりました。
- ・今後も全てにおいて100%の満足度が頂けるように心掛けて業務を行ってください。

【上記の運営推進会議についての評価及び感想を頂く。】

<老人福祉員>

【評価・意見】

1) 他の事業所とのつながりはありますか

管理者：担当者会議などで、他の事業所と協力して支援を行っています。

また、事業所会議などでも他の事業所と情報交換を行っています。

2) 私は、他の事業所の運営推進会議にも参加しています。

こちらの事業所では、きめ細かな対応やサービスをされているのが伺えます。

小規模事業所の利点を生かして良いサービスが出来ていると感じました。

〈大宅学区民生児童委員協議会〉

【評価・意見】

- 1) 私は、介護に詳しくないですが、子供の事業に携わっています。
世間では、虐待などもあるかもしれないが、今のところはないです。
人権の配慮が過剰になって来て現場がやりづらいと感じます。
- 2) 職員のきめ細かい介護など、利用者さんの満足度なども高く、とても良いデイサービスだと感じました。
もっと、口コミなどで皆さんに周知されれば良いと思いました。

〈ご利用者代表〉

【評価・意見】

- 1) いつも、細かく丁寧にして下さり助かります。
ここは、体操なども出来るのがいいです。
また、少人数なのでマシントレーニングなども順番で回って来るので良かったです。
レクリエーションもいつも楽しいです。

〈大宅地域包括支援センター〉（照会にて評価・意見を頂く）

【評価・意見】

- 1) 5月以降コロナが5類となり、様々な活動が再開されているかと思えます。
書面の中でも先月に夏祭りを開催されたとの記載があり、利用者さんにとって楽しみが増えていくだろうと感じました。
また、研修・会議を行い職員の質の向上を図られている事も分かりました。
アンケートにつきましても、4年連続100%の回答を得られている事が記載されており、利用者の方々にとって良い居場所になっているのだと感じました。
- 2) 大宅包括としては今年度京都橘大学へと認知症サポーター養成講座を開催させてもらっています。今年度はやまサポ会員事業所にも声を掛けさせてもらい協力をして頂いております。次年度も継続して開催をしていく予定ですので、その際にはご協力をお願いしたいと思います。
今後ともよろしくお願い致します。

◆ 管理者より閉会の挨拶

本日は、協力ありがとうございました。

次回の第16回運営推進会議は、令和6年3月頃を予定しております。